

奈良県立医科大学に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんから摘出された腫瘍標本およびその病理診断結果を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

〔研究課題名〕 病理組織標本を用いた HLA class Ib 分子の発現解析
（本研究の実施については、奈良県立医科大学学長の許可を受けています。
また、開示すべき利益相反はありません。）

〔研究機関名〕 奈良県立医科大学

〔研究責任者名・所属〕 奈良県立医科大学 免疫学 王寺典子

〔研究の目的〕 悪性腫瘍特異的マーカー開発のため。

〔研究の意義〕 本研究成果は悪性腫瘍特異的な治療法の開発につながる。

〔研究の方法〕

研究対象者：奈良県立医科大学で腫瘍摘出手術（胃癌、大腸癌、肝癌、腎臓癌、皮膚癌、甲状腺癌、肺癌、乳癌、膵癌、食道癌、小児癌）を受けた者。

研究試料：摘出された腫瘍組織とこれに付随する臨床情報（年齢、性別、術後再発形式、腫瘍進行度、腫瘍悪性度）およびその病理診断結果。

研究方法：摘出された腫瘍上における HLA class Ib 分子の発現を解析します。

〔研究期間〕 2016 年 3 月 18 日から 2027 年 3 月 31 日。

〔研究対象者の選定理由〕 1995 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日に奈良県立医科大学で腫瘍（胃癌、大腸癌、肝癌、腎臓癌、皮膚癌、甲状腺癌、肺癌、乳癌、膵癌、食道癌、小児癌）摘出手術を受け、その腫瘍組織の病理診断結果が明確であるもの。

ただし、研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回することができます。もし、研究対象者等からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難である時は、その旨及びその理由を明らかにします。

本研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等が不利益な取扱いを受けることはありません。

〔研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク〕 本研究は、腫瘍摘出手術において摘出され、明確な病理診断がなされている標本を対象とします。本研究のために腫瘍摘出手術を行うことはありません。従って、本研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスクはありません。

〔研究対象者に生じる得る利益〕 直ちに利益をもたらすことはありませんが、この研究の成果が今後の悪性腫瘍特異的な治療法の発展に寄与することが期待され、将来研究対象者の治療につながる可能性があるという点で研究対象者に利益をもたらす可能性があります。

〔利益相反について〕 開示すべき利益相反はありません。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

奈良県橿原市四条町 8 4 0

奈良県立医科大学 免疫学 助教 王寺典子

電話 0 7 4 4－2 2－3 0 5 1 （内線 2 0 1 6） FAX 0 7 4 4－2 9－7 5 0 3